

グローバル人材育成プログラム  
Global Linkage Initiative Program

# 2022 GLIP 履修ガイド

東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

# 目次

グローバル人材育成プログラム (GLIP) とは.....	2
1. GLIP 英語科目 .....	3
1.1. 英語 A - Interactive English (IE) .....	4
科目概要 .....	4
履修について .....	4
クラス分け.....	5
【新入生・編入生の場合】 .....	5
【新入生以外で履修を希望する場合】 .....	5
英語学習支援センター (ELC) の学習課題について .....	5
TOEIC-IP スコアについて.....	5
1.2. 英語 B - Academic English (AE).....	6
科目概要 .....	6
履修について .....	7
クラス分け.....	8
【英語 B1/B2: Technical Writing】 .....	8
【英語 B1/B2: オンライン・オンデマンド型】 .....	8
【編入生の場合】 .....	8
1.3. 英語 C - Career English (CE).....	9
科目概要 .....	9
履修について .....	9
クラス分け.....	9
【編入生の場合】 .....	9
1.4. 英語 A/B - Summer/Winter Intensive English (SIE/WIE).....	10
科目概要 .....	10
2. 英語学習支援センター (研究講義棟 304 教室) について .....	12
3. 英語による科目 (Lectures in English) .....	13
科目概要 .....	13
履修について .....	13
4. GLIP 英語科目の履修に関する FAQ.....	14
全般 .....	14
英語 A - Interactive English (IE) .....	14
英語 B - Academic English (AE)・英語 C - Career English (CE).....	14
英語 A/B - Summer/Winter Intensive English (SIE/WIE).....	16
5. CEFR-J .....	17

## グローバル人材育成プログラム（GLIP）とは

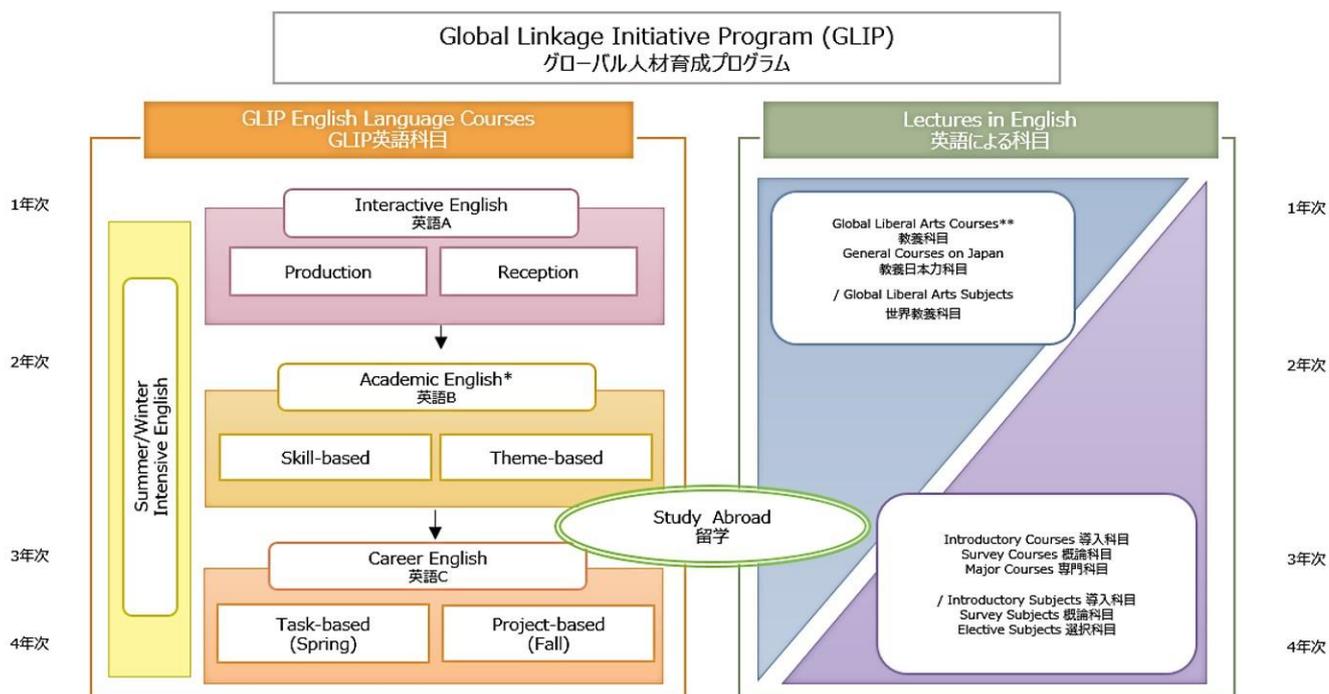
グローバル言語をモノにする！

東京外国語大学には、グローバル化が進む現代の国際社会で必要とされる職業人を育成するための「グローバル人材育成プログラム（Global Linkage Initiative Program、GLIP）」があります。国際社会で活躍するためには、どんな相手とも相互に理解を深め、創造的な関係を構築できるよう、グローバルな言語である英語のコミュニケーション能力が求められます。また自己や自分の文化を相対的に認識する視点と、幅広い教養が必要です。

GLIP では、このような力を備えた人材の育成を目的として、英語力を磨くための「GLIP 英語科目」と、国際的な教養や専門知識を英語で身につけるための「英語による科目」を提供しています。これらはすべて正課として開講され、一定数まで卒業所要単位に算入されます。

また GLIP は留学前準備プログラムとしても位置づけられています。「GLIP 英語科目」と「英語による科目」を履修することで、留学先の大学で講義を受けるためのトレーニングを効果的に行うことができます。留学後の英語力保持にも役立ちます。

英語による科目の一覧、概要は別冊の「英語による科目一覧」も参照してください。



\* Academic English 科目の一部は、東京工業大学との連携プログラムである国際テクニカルライティング・コースの授業としても開講されます。

\* Some of the Academic English course are also offered as part of the "Technical Writing Course," a liaison program with Tokyo Institute of Technology.

\*\* 英語による科目の一部は、東京農工大学、電気通信大学との連携プログラムの一環として、また東北大学、福島大学、大阪大学、神戸大学との国際共修(ICL)プロジェクトの一環として開講されます。

\*\* Some of the Lectures in English courses are offered as part of a liaison program with Tokyo University of Agriculture and Technology and The University of Electro-Communication or as part of the International Collaborative Learning Project with Tohoku University, Fukushima University, Osaka University, and Kobe University.

## 1. GLIP 英語科目

GLIP 英語科目は、大きく分けて 3 つの科目で構成されます。1 年次から履修できる「英語 A」、2 年次から履修できる「英語 B」、3 年次から履修できる「英語 C」です。それぞれの科目の詳しい内容や、履修の仕方、クラス分けの詳細は、次ページ以降に記載されています。事前によく読み、質問などがある場合は GLIP デスクに問い合わせてください (GLIP デスクの連絡先はこのガイドの最後のページに記載されています)。

各科目の説明に入る前に、GLIP 英語科目の履修にあたり最も重要となるルールをまず確認しておきます。卒業要件に関わる事項ですので、『履修案内』とあわせてしっかり確認してください。

### 【言語文化学部・国際社会学部】

言語科目の卒業要件を満たすために、GLIP 英語科目または教養外国語科目からひとつの言語を選び、最低 6 単位を修得する必要があります。GLIP 英語科目を言語科目の必修 6 単位とする場合は、英語 A を 4 単位、英語 B を 2 単位修得する必要があります。教養外国語科目を言語科目の必修 6 単位とする場合、GLIP 英語科目を履修すると言語科目の選択必修科目としてカウントされます。

中央アジア地域 (ロシア語)、アフリカ地域、オセアニア地域に所属する学生は、上記とは異なる要件で単位を修得する必要があるので、『履修案内』を確認してください。

言語文化学部英語専攻および国際社会学部北西ヨーロッパ地域・北アメリカ地域専攻に所属する学生は、教養外国語科目を必ず 6 単位修得しなければなりません。それ以外に選択必修科目として、GLIP 英語科目を履修することができます。

### 【国際日本学部】

GLIP 英語科目を言語科目の一部として修得できます。原則として 1 年次で英語 A を 10 単位、2 年次以降で英語 B を 8 単位修得することとします。英語 B、英語 C については、上記の 18 単位に加えて自由に履修することができます (履修可能年次と単位数の上限に注意してください)。

If you are a J2 student, who has entered the university by using the Examination for Japanese University Admission for International Studies, or if you are a J3 student, who has entered the university by High School Recommendation, please consult the School of Japan Studies first. We have a different set of rules for J2 and J3 students about how to take GLIP English Language Courses, so please talk to the teachers in the School of Japan Studies and follow their instructions.

## 1.1. 英語 A - Interactive English (IE)

### 科目概要

---

英語 A は 1 年次から履修可能です。少人数で授業を行い、高校レベルの英語から大学レベルの英語へのスムーズなステップアップを目的としています。授業は英語で行われます。原則として英語 A1/A2: Production と英語 A3/A4: Reception の授業を、どちらも春学期と秋学期の通年の形で受講します。また、春学期・秋学期開講の英語 A1/A2: Production、英語 A3/A4: Reception は、履修するクラスが TOEIC-IP のスコアによって指定されます。GLIP が指定するクラス以外のクラスは履修できません。さらに、国際日本学部の学生向けに英語 A5/A6 が開講されます。クラス分けはなく、国際日本学部の学生全員が履修できます。英語 A1、英語 A3、英語 A5 は春学期開講の科目で、英語 A2、英語 A4、英語 A6 は秋学期開講の科目です。

#### (a) 英語 A1/A2: Production

主に Speaking、Writing に重点を置き、英語で発信する力を養います。

#### (b) 英語 A3/A4: Reception

主に Listening、Reading に重点を置き、英語で情報を分析的・批判的に理解する力を養います。

#### (c) 英語 A5/A6

国際日本学部専用の科目です。英語を使った課題解決型の活動にグループで取り組みます。

### 履修について

---

英語 A の履修方法は、言語文化学部・国際社会学部の学生と、国際日本学部の学生で、それぞれ異なるルールが適用されます。

#### 【言語文化学部・国際社会学部】

1 年次から履修できます。言語科目の必修 6 単位として履修する場合、英語 A は原則として 4 単位（英語 A1/A2: Production を 2 単位、英語 A3/A4: Reception を 2 単位）を履修する必要があります。英語 A として開講される Summer/Winter Intensive English や Summer Immersion Camp の単位でこれに代替することもできます。修得できる単位数の上限は、英語 A1/A2: Production 2 単位、英語 A3/A4: Reception 2 単位の計 4 単位までです。ただし、すでに上記の上限単位数まで英語 A を修得している場合であっても、夏学期・冬学期に英語 A として開講される Summer/Winter Intensive English や Summer Immersion Camp に限っては追加で履修することが可能です（言語科目の選択必修科目としてカウントされます）。他方、すでに上限数まで英語 A の単位を修得した状態で、春学期・秋学期に開講される英語 A を追加で履修することはできません。ただし、英語 A を上限数まで修得していない状態で、春学期または秋学期に複数の英語 A を履修することは可能です。その場合も、追加で修得した英語 A の単位は、言語科目の選択必修科目としてカウントされます。

#### 【国際日本学部】

1 年次から履修できます。1 年次で、英語 A を 10 単位（英語 A1/A2: Production を 4 単位、英語 A3/A4: Reception を 4 単位、国際日本学部専用に開講される英語 A5/A6 を 2 単位）履修することを目安とします。英語 A1/A2/A3/A4 は、英語 A として開講される Summer/Winter Intensive English や Summer Immersion Camp の単位でこれに代替することもできます。一方、英語 A5/A6 は Summer/Winter Intensive English や Summer Immersion Camp の単位で代替することはできません。なお、2 年次以降に英語 A を履修する場合、

英語 A1/A2/A3/A4 や Summer/Winter Intensive English や Summer Immersion Camp の履修を推奨します。英語 A5/A6 は 1 年次での履修を推奨します。修得できる単位数の上限は、英語 A1/A2: Production 4 単位、英語 A3/A4: Reception 4 単位、英語 A5/A6 2 単位の計 10 単位までです。ただし、すでに上記の上限単位数まで英語 A を修得している場合であっても、夏学期・冬学期に英語 A として開講される Summer/Winter Intensive English や Summer Immersion Camp に限っては追加で履修することが可能です（言語科目の必修 30 単位の一部としてカウントされます）。他方、すでに上限数まで英語 A の単位を修得した状態で、春学期・秋学期に開講される英語 A を追加で履修することはできません。ただし、英語 A を上限数まで修得していない状態で、春学期または秋学期に複数の英語 A を履修することは可能です。その場合も、追加で修得した英語 A の単位は、言語科目の必修 30 単位の一部としてカウントされます。

If you are a J2 or J3 student, please consult the teachers in the School of Japan Studies and follow their instructions.

### クラス分け

---

英語 A1/A2: Production、英語 A3/A4: Reception のクラスは TOEIC-IP のスコアによって指定されます。春学期・秋学期連続して同一曜限・同一教員のクラスを受講します。必ず指定されたクラスを履修登録してください。必修または必修に準じる授業（地域基礎科目など）と重複した場合を除き、指定されたクラスの変更は原則として認められません。

#### 【新入生・編入生の場合】

4 月初めに全員を対象として実施される TOEIC-IP のスコアによってクラス分けが行われます。TOEIC-IP を受験できなかった場合は、春学期の授業開始日までに GLIP デスクに相談してください。クラスは授業開始前に掲示しますので、各自確認し、指定のクラスを学務情報システムで履修登録してください。

#### 【新入生以外で履修を希望する場合】

年度初めの指定の期日までに受講希望の申請書提出が必要です。最新の TOEIC スコア（またはそれに代わるもの）を持って、GLIP デスクで申請してください。それを基にクラス分けを行いますので、掲示を確認し指定のクラスを学務情報システムで履修登録してください。

### 英語学習支援センター（ELC）の学習課題について

---

英語 A1/A2: Production、英語 A3/A4: Reception の成績評価には、英語学習支援センターが提供する学習課題（ELC 課題）を授業外で一定量行なったかどうか反映されます。ELC 課題については、新学期に開催される ELC ガイダンス（オンライン配信など）で説明しますので、必ず確認してください。ガイダンスの詳細は大学 HP や学務情報システム、掲示などにより通知します。

### TOEIC-IP スコアについて

---

1 年次秋学期に英語 A2: Production、英語 A4: Reception を履修する場合、上記の ELC 課題に加えて、12 月に実施される TOEIC-IP のスコアが成績評価に反映されます。2 年次以上でこれらの科目を履修する場合は、TOEIC-IP のスコアは用いられず、ELC 学習課題ポイントを 2 倍して成績評価に反映されます。

## 1.2. 英語 B - Academic English (AE)

### 科目概要

英語 B は 2 年次から履修可能です。大学レベルで通用する英語力を養うための授業です。運用能力を高める英語 B1/2: Skill-based、コンテンツベースの英語 B3/B4: Theme-based、そして英語 B1/B2: Technical Writing の授業が用意されています。英語 B5/B6 は国際日本学部専用の科目、英語 B7/B8 は英語の教職課程（2019 年度入学者以降）専用の科目です。英語 B1、英語 B3、英語 B5、英語 B7 は春学期開講の科目で、英語 B2、英語 B4、英語 B6、英語 B8 は秋学期開講の科目です。

#### (a) 英語 B1/B2: Skill-based

Writing、Reading、Speaking、Listening、Interpretation/Translation、Pronunciation、Grammar、Vocabulary のうち、ひとつまたは複数の技能に重きを置いた授業です。技能を有機的に統合し、英語の運用能力を高めることを目的としています。英語レベルにより履修クラスが指定されることはないの、シラバスでそれぞれの授業の内容を確認して、自分の目的や関心に合う授業を履修してください。ただし、上級者向けに Skill-based (Advanced) も開講されています。以下の目安を参考に、履修する授業を選択してください。

レベル（英語力）の目安	Skill-based	Mixed Level
	Skill-based (Advanced)	TOEIC 800 点以上

#### (b) 英語 B3/B4: Theme-based

各学部の専門分野について、英語で学べる素地を作るための授業です。また、英語圏の留学先での授業の準備にもなります。英語レベルによるクラス分けはありません。

#### (c) 英語 B1/B2: オンライン・オンデマンド型

オンライン学習教材を使い、自分のレベルに合った教材で「読む・聞く」技能を伸ばせます。また、定期的に Zoom ミーティングに参加して担当教員からのフィードバックを得ることで、モチベーションを保って学習できます。TOEIC 800 点未満の学生向けクラスと、TOEIC 800 点以上の学生向けクラスが開講されます。

#### (d) 英語 B1/B2: Technical Writing

東京工業大学との連携授業（国際テクニカルライティング・コース）の一環で、産業界から強く求められている国際的エンジニアおよびテクニカルライターを養成し、グローバル化された国際ビジネスのエリアに優れた人材を育成することを目的とした国際テクニカルライティング・コースに所属する学生を主な対象とする授業です。

#### (e) 英語 B5/B6

国際日本学部専用の科目です。課題解決型のプロジェクトを通して、英語で協働できる力を養います。

#### (f) 英語 B7/B8: English Oral Communication for Prospective Teachers

英語の教職課程をとっている学生（2019 年度入学者以降）専用の「英語コミュニケーション」の授業です。言語文化学部英語専攻および国際社会学部北西ヨーロッパ地域・北アメリカ地域専攻以外の学生が英語の教員免許状を取得する場合の必修科目で、当該学生に限って抽選なしで履修することができます。

## 履修について

英語 B の履修方法は、言語文化学部・国際社会学部の学生と、国際日本学部の学生で、それぞれ異なるルールが適用されます。

### 【言語文化学部・国際社会学部】

2 年次から履修できます。言語科目の必修 6 単位として履修する場合、英語 B は 2 単位履修する必要があります。英語 B1/B2/B3/B4 から、目的に応じて自由に組み合わせて履修できます。例えば、英語 B (Academic English) を 4 単位履修する場合、Skill-based を 2 単位と Theme-based を 2 単位履修することや、Skill-based だけを 4 単位履修することなどが可能です。英語 B として開講される Summer/Winter Intensive English の単位でこれに代替することもできます。また、英語の教職課程をとっている学生 (2019 年度入学者以降) は、英語 B7/8 の単位を、言語科目の必修単位 6 単位に含めることができます。

英語 B1/B2 のうち、オンライン学習教材を使用する授業 (オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2) は、在学中に 1 単位のみ修得できます。過去にオンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 を修得したことがある場合、再び履修することはできません。

履修登録できる英語 B の単位は、年度ごとに最大 6 単位です。英語 B を履修するには、前年度までに (1) 英語 A を 1 単位以上修得しているか、(2) 教養外国語を 4 単位以上修得している必要があります。履修できる具体的な単位数については、以下の表を確認してください。ただし、専攻言語・地域言語 A が英語の場合は、他の言語単位の修得状況に関わらず、2 年次から履修できます。

前年度までに 修得した言語単位	2 年次以上で履修できる英語 B の単位数
英語 A を 4 単位以上	年度ごとに 6 単位まで
英語 A を 3 単位以下	年度ごとに英語 A の修得単位数まで 例) 英語 A を 2 単位修得していれば、英語 B を 2 単位まで履修可
教養外国語を 4 単位以上	年度ごとに 6 単位まで
教養外国語を 3 単位以下	履修不可
(専攻言語・地域言語 A が英語)	年度ごとに 6 単位まで

※英語の教職課程をとっている学生 (2019 年度入学者以降) の場合、英語 B7/B8 も「2 年次以上で履修できる英語 B の単位数」に含まれます。

### 【国際日本学部】

2 年次から履修できます。2 年次以降で、英語 B を 8 単位 (英語 B1/B2/B3/B4 から 6 単位、国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 を 2 単位) 履修することを目安とします。英語 B1/B2/B3/B4 は、目的に応じて自由に組み合わせて履修できます。例えば、英語 B (Academic English) を 4 単位履修する場合、Skill-based を 2 単位と Theme-based を 2 単位履修することや、Skill-based だけを 4 単位履修することなどが可能です。英語 B1/B2/B3/B4 は、英語 B として開講される Summer/Winter Intensive English の単位でこれに代替することもできます。一方、英語 B5/B6 は Summer/Winter Intensive English の単位で代替することはできません。なお、3 年次以降に英語 B を履修する場合、英語 B1/B2/B3/B4 や Summer/Winter Intensive English の履修を推奨します。英語 B5/B6 は 2 年次での履修を推奨します。また、英語の教職課程をとっている学生は、英語 B7/8 の単位を、言語科目の必修 30 単位に含めることができます。

英語 B1/B2 のうち、オンライン学習教材を使用する授業（オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2）は、在学中に 1 単位のみ修得できます。過去にオンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 を修得したことがある場合、再び履修することはできません。

履修登録できる英語 B1/B2/B3/B4 の単位は、年度ごとに最大 6 単位です。英語 B1/B2/B3/B4 を履修するには、前年度までに英語 A を 3 単位以上修得している必要があります。一方、英語 B5/B6 は、前年度までの英語 A の修得単位数に関わらず履修できます。履修できる具体的な単位数については、以下の表を確認してください。

前年度までに 修得した言語単位	2 年次以上で履修できる英語 B1/B2/B3/B4 の単位数
英語 A を 8 単位以上	年度ごとに 6 単位まで
英語 A を 3 単位～7 単位	年度ごとに英語 A の修得単位数から 2 を引いた数まで 例) 英語 A を 5 単位修得していれば、英語 B1/B2/B3/B4 を 3 単位まで履修可
英語 A を 2 単位以下	履修不可

※英語 B5/B6 については、英語 A の修得単位数に関わらず 2 年次で履修します。

※英語の教職課程をとっている学生の場合、上記の表は「2 年次以上で履修できる英語 B1/B2/B3/B4/B7/B8 の単位数」となります。

If you are a J2 or J3 student, please consult the teachers in the School of Japan Studies and follow their instructions.

## クラス分け

英語 B1/B2/B3/B4 については、クラス分けを抽選によって行います。春学期の授業の抽選は春学期の授業開始前、秋学期の授業の抽選は秋学期の授業開始前に学務情報システムで行います。大学 HP や掲示などに注意し、所定の手続きを踏むようにしてください。

過去に単位を修得したことがある教員の同一内容の授業を再度履修することは認められません。また、学習効果の観点上、同学期の同一教員の授業を複数受講することは望ましくありません。

### 【英語 B1/B2: Technical Writing】

国際テクニカルライティング・コースの学生の場合、英語 B1/B2: Technical Writing の授業は抽選を経ずに優先的に履修することができますので、教務課で履修手続きを行ってください。それ以外の学生も卒業所要単位として履修することができますが、他の英語 B1/B2 同様、抽選手続きが必要です。

### 【英語 B1/B2: オンライン・オンデマンド型】

TOEIC の点数によって履修できるクラスが決まります。TOEIC 800 点未満の学生向けクラスと、TOEIC 800 点以上の学生向けクラスが開講されます。TUF S Record に登録されている TOEIC スコアのうち最新のものを確認し、正しいクラスに履修登録してください。TOEIC スコアに合わないクラスに履修登録しても、オンライン学習教材のアカウントは購入できず、授業に参加することもできません。事前に大学 HP や掲示などにより通知される履修上の注意事項を必ず確認したうえで、履修登録を行ってください。

### 【編入生の場合】

授業の履修を希望する場合には、GLIP 英語科目コーディネーターにメールで相談してください。

### 1.3. 英語 C - Career English (CE)

#### 科目概要

---

英語 C は 3 年次から履修可能です。ビジネスの最前線で活躍するための実践的英語力を養うことを目的とします。

英語 C1 は春学期開講の科目で、英語 C2 は秋学期開講の科目です。

#### (a) 英語 C1: Task-based

ビジネス・レターを書く、契約書を作成する、電話で交渉する、などビジネスの場面に特化した英語による課題遂行能力を高めます。

#### (b) 英語 C2: Project-based

企業などの現場での即戦力につながるような実践的な英語力を強化します。たとえば、商品開発のための企画を作成し、プレゼンテーションを行うなどの学期を通したプロジェクト活動が含まれます。

#### 履修について

---

英語 C は 3 年次から履修できます。年度ごとに最大 4 単位履修できます。履修のための要件はありません。

#### クラス分け

---

英語 C のクラス分けは抽選によって行います。春学期の授業の抽選は春学期の授業開始前、秋学期の授業の抽選は秋学期の授業開始前に学務情報システムで行います。大学 HP や掲示などに注意し、所定の手続きを踏むようにしてください。

過去に単位を修得したことがある教員の同一内容の授業を再度履修することは認められません。

#### 【編入生の場合】

授業の履修を希望する場合には、GLIP 英語科目コーディネーターにメールで相談してください。

## 1.4. 英語 A/B - Summer/Winter Intensive English (SIE/WIE)

### 科目概要

英語 A/B の集中講義科目は、夏学期・冬学期期間中に、英語の 4 技能を集中的に訓練するための授業です。これから留学する学生や留学から帰国した学生、短期間で集中的に英語学習を進めたい学生が、それぞれの目的に応じて履修することが可能です。各クラスを 2 人の教員が担当し、2～3 週間にわたって、1 日 2～3 コマの授業を週 2 回受講します。具体的な授業内容や開講曜日についてはシラバスを参照してください。また、夏学期・冬学期にもオンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 が開講される予定です。

2022 年度には夏学期（8/29（月）～9/16（金））に 8 クラス（SIE が 6 クラス、オンライン・オンデマンド型英語 B1 が 2 クラス）、冬学期（2/6（月）～2/17（金））に 6 クラス（WIE が 4 クラス、オンライン・オンデマンド型英語 B2 が 2 クラス）が開講される予定です。ただし、開講科目数などは変更になる可能性がありますので、詳細は各学期前に掲示されるチラシをご覧ください。SIE/WIE は夏学期・冬学期の履修登録期間中に履修登録を行います。夏学期・冬学期開講のオンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 も同様です。申し込みの方法は大学 HP や掲示などで指示します。

SIE/WIE は英語 A、英語 B のいずれかとして開講されます。履修条件や単位数の数は、春学期・秋学期に開講される英語 A、英語 B に準じます。

過去に単位を修得したことがある教員の同一内容の授業を再度履修することは認められません。また、学習効果の観点上、同学期の同一教員の授業を複数受講することは望ましくありません。

### Summer Intensive English のクラス

	科目名	レベルの目安	時限・授業形態など	備考
1	英語 A1	TOEIC 800 未満	1、2 週目は 4、5 限 3 週目は 3、4、5 限	2 年次以降履修可
2	英語 A1	TOEIC 800 未満		
3	英語 A1	TOEIC 800 以上		
4	英語 A1	TOEIC 800 以上		
5	英語 B1	TOEIC 800 未満	オンライン・オンデマンド	
6	英語 B1	TOEIC 800 以上		
7	英語 B1	TOEIC 800 未満		
8	英語 B1	TOEIC 800 以上		

※ SIE の科目数は変更される場合があります。

### Summer Intensive English のスケジュール

		Instructor A	Instructor B
Week 1	4 限	Lesson A-1	Lesson B-1
	5 限	Lesson A-2	Lesson B-2
Week 2	4 限	Lesson A-3	Lesson B-3
	5 限	Lesson A-4	Lesson B-4
Week 3	3 限	Lesson A-5	Lesson B-5
	4 限	Lesson A-6	Lesson B-6
	5 限	Lesson A-7	Lesson B-7
		Active Learning A	Active Learning B

※オンライン・オンデマンド型英語 B1 のスケジュールについては、大学 HP など別途通知します。

### Winter Intensive English のクラス

	科目名	レベルの目安	時限・授業形態など	備考
1	英語 A2	TOEIC 800 未満	3、4、5 限 ※ 曜日により開講時限が異なります。	
2	英語 A2	TOEIC 800 以上		
3	英語 A2	TOEIC 800 未満		
4	英語 B2	Mixed level		
5	英語 B2	TOEIC 800 未満	オンライン・オンデマンド	2 年次以降履修可
6	英語 B2	TOEIC 800 以上		

※ WIE の科目数は変更される場合があります。

### Winter Intensive English のスケジュール

			曜日①	曜日②	曜日③	
Week 1	Instructor A	3 限	-	-	Lesson A-5	Active Learning A
		4 限	Lesson A-1	Lesson A-3	Lesson A-6	
		5 限	Lesson A-2	Lesson A-4	Lesson A-7	
Week 2	Instructor B	3 限	-	-	Lesson B-5	Active Learning B
		4 限	Lesson B-1	Lesson B-3	Lesson B-6	
		5 限	Lesson B-2	Lesson B-4	Lesson B-7	

※ 具体的な開講曜日①②③については決まり次第大学 HP などで通知します。スケジュールは変更される場合があります。大学 HP などの掲示をご確認ください。

※オンライン・オンデマンド型英語 B2 のスケジュールについては、大学 HP などで別途通知します。

## 2. 英語学習支援センター（研究講義棟 304 教室）について

本学の英語学習支援センター（English Learning Center、ELC）では多彩な英語学習プログラムと学習の成果を多面的に振り返る機会を提供することで、学生の授業内外での英語学習を総合的にサポートしています。

ELC 課題の取組状況は、一部の GLIP 英語科目（Production、Reception）の成績評価に反映されます。

ELC の詳細は、ELC で発行している別冊の『2022 年度 ELC 利用ガイド』を参照してください。

### 英語自律学習支援プログラム powered by ELC



### 3. 英語による科目 (Lectures in English)

英語による科目の一覧、概要は別冊の『英語による科目一覧』も参照してください。

#### 科目概要

「GLIP 英語科目」が英語のスキルを伸ばすことを目的としているのに対し、「英語による科目」は英語によって講義の内容を学ぶことが目的です。すなわち、英語“を”学ぶことに重点を置くのが「GLIP 英語科目」で、英語“で”学ぶことに重点を置くのが「英語による科目」です。

「英語による科目」は、言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部の各分野に対応するさまざまなトピックで開講されています。

「英語による科目」の多くは、本学の交換留学プログラム (ISEP-TUFS) で開講されている授業と共通で開講されています。交流協定校から本学を訪れている世界各地の留学生と一緒に学ぶことができます。

「英語による科目」の中には、英語のみによる講義に慣れていない学生向けに、より平易な英語で開講される **Simple English** と呼ばれる授業があります。成績は原則として英語力ではなく、講義の内容についての理解力に基づいて評価されます。

#### 履修について

「英語による科目」は、内容の専門性によって「教養科目 (2019 年度以降の入学) / 世界教養科目 (2018 年度以前の入学)」「導入科目」「概論科目」「専門科目 (2019 年度以降の入学) / 選択科目 (2018 年度以前の入学)」として開講されます。科目の種類によって履修できる学年や条件が異なります。授業によっては英語力などで個別に条件を設定しているものもありますので、必ずシラバスを確認してください。

区分	履修年次	難易度
教養科目 / 世界教養科目	1 年次以上	前提知識を必要としない入門レベル
導入科目	1 年次以上	最低限の前提知識が必要
概論科目	2 年次以上	当該分野のごく基礎的な知識が必要
専門科目 / 選択科目	2 年次または 3 年次以上	当該分野の基礎的な知識が必要

履修希望者が多すぎる場合、授業担当者の意向で受講者数の制限や選抜を行うことがあります。

これらの授業を履修するためには、初回の授業に参加し、  
授業担当者の選抜により履修を認められる必要があります。

## 4. GLIP 英語科目の履修に関する FAQ

### 全般

---

Q: GLIP の授業を履修するには、事前の申し込みなどは必要ですか。

A: 「GLIP 英語科目」を履修するには、**授業開始前の決められた期間内に受講希望申請や抽選のための登録が必要です**。日程については大学 HP や掲示などを確認してください。

「英語による科目」は他の授業と同様に、履修登録期間に各自学務情報システムで履修登録をします。ただし、初回の授業で抽選や選抜を行うものがありますので、シラバスをよく確認してください。

Q: 英語 A のかわりに英語 B を履修したり、英語 A や英語 B のかわりに英語 C を履修したりすることはできますか。

A: できません。英語 A、英語 B、英語 C はそれぞれ目的や内容が異なる別々の授業であると考えてください。特に、言語文化学部・国際社会学部の学生で GLIP 英語科目を「英語・教養外国語の必修 6 単位」とする場合には、**英語 A を 4 単位、英語 B を 2 単位**修得する必要があるため、別の授業で代替することはできない点に十分注意してください。また、国際日本学部の学生の履修モデルである **1 年次で英語 A を 10 単位、2 年次以降で英語 B を 8 単位**については、卒業のために必ず満たさなければならない要件ではないものの、原則としてこのモデルに従って履修することが強く推奨されます。

Q: 派遣留学を考えていますが、GLIP の単位が必要ですか。

A: 「GLIP 英語科目を 6 単位、英語による科目を 4 単位」履修していることが望ましく、推奨されています。授業の指定はありませんので、各自興味のあるものを履修してください。

### 英語 A - Interactive English (IE)

---

Q: 春学期と秋学期で、英語 A の違うクラスを履修することはできますか。

A: できません。英語 A は Production、Reception とともに原則通年で履修することを前提に授業が計画されているため、春学期と秋学期で同一曜限・同一教員のクラスを履修します。

Q: 以前落としてしまった英語 A の単位を取りたいのですが、どの授業を履修すればよいですか。

A: Production と Reception のうちどの授業を履修するか確認し、春学期の授業開始前に GLIP デスクで受講希望申請をしてください。クラス分けがされますので、指定の授業を指定の学期に履修してください。

### 英語 B - Academic English (AE) ・ 英語 C - Career English (CE)

---

Q: 春学期と秋学期で、英語 B ・ 英語 C の違う授業を履修することはできますか。

A: できます。英語 B ・ 英語 C のクラスは抽選で決定しますので、各学期の授業開始前の決められた期間内に抽選登録をしてください。ただし、英語 C については春学期に Task-based、秋学期に Project-based の科目が開講されますので、通年で履修することをおすすめします。

Q: 英語 B の Skill-based と Theme-based は両方とも履修する必要がありますか。

A: Skill-based と Theme-based は自由に組み合わせて履修できます。

Q: 英語 B: Skill-based (Advanced) は、TOEIC 800 点以上でないといふ履修してはいいませんか。

A: いいえ。あくまで目安ですので、TOEIC 800 未満であっても Skill-based (Advanced) を履修することは可能ですし、TOEIC 800 以上であっても Skill-based を履修することも可能です。

Q: オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 は、普通のオンライン科目やオンデマンド科目とはどう違うのですか。

A: オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 では、オンライン学習教材を使用して授業が進められます。学生が好きな時間にオンライン教材で学習できるので、オンデマンド科目のように自分のスケジュールに合わせて柔軟に学習時間を決めることができます。それに加えて、定期的に Zoom ミーティングに参加し（春・秋学期は原則として毎週、夏・冬学期は原則として毎日）、担当教員からのフィードバックを得たり、学習内容に関連した課題に他の履修者と一緒に取り組んだりします。その意味で、オンライン科目ならではのリアルタイムのコミュニケーションをおこなう機会も十分に確保されています。このように、オンライン、オンデマンド双方の性格を併せ持つ科目であることから、オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 と呼ばれます。

Q: オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 は、TOEIC 800 点以上でも、800 点未満向けのクラスを履修できますか。また TOEIC 800 点未満でも、800 以上向けのクラスを履修できますか。

A: いいえ、できません。TUFS Record に記録されている TOEIC スコアに基づいて、履修できるクラスが決まります。

Q: オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 は、800 点未満向けのクラスを修得した後、TOEIC のスコアが上がれば、800 点以上向けのクラスを履修することはできますか。また、800 点以上向けのクラスを修得した後、TOEIC のスコアが下がれば、800 点未満向けのクラスを履修することはできますか。

A: いいえ、できません。オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2 は異なるクラスであっても再び履修することはできません。卒業単位に含められるのはひとり 1 単位までです。

Q: 英語 C の Task-based と Project-based は両方とも履修する必要がありますか。

A: Task-based と Project-based は必ずしも両方履修する必要はありませんが、春学期に Task-based、秋学期に Project-based の科目が開講されますので、通年で履修することをおすすめします。また、春または秋学期だけ受講する場合には、秋学期の授業が春学期の授業を踏まえた内容であることを考慮に入れて履修計画を立ててください。

Q: 抽選で割り当てられた英語 B・英語 C の授業を変更したい、もしくは履修をやめたいのですが。

A: 抽選で当選した授業は自動的に履修登録がされます。履修を取り消す場合は、必ず履修登録期間中に学務情報システムでおこなってください。履修取り消しによりその授業の定員に空きができた場合、他の履修希望者が先着順で登録できるようになります。そのため、**履修を取り消す場合は履修登録期間が始まり次第ただちに取り消すようにしてください。**

Q: 抽選で割り当てられた授業以外の英語 B・英語 C の授業を履修することはできますか。

A: 抽選登録後、履修登録期間内に、定員に空きのあるクラスのみ先着順で登録ができます。履修登録に関する掲示を確認し、決められた期間内に登録をしてください。

Q: 英語 B・英語 C の抽選登録に参加しなかったのですが、履修をすることはできますか。

A: 抽選登録に参加しなかった場合は、履修登録期間内に、定員に空きのあるクラスに履修登録してください。先着順で登録ができます。

#### 英語 A/B - Summer/Winter Intensive English (SIE/WIE)

---

Q: SIE または WIE で開講される英語 A を履修した場合、Production と Reception のどちらでカウントされますか。

A: Production と Reception のどちらでもカウントできます。ですので、たとえば言語文化学部・国際社会学部の学生が、春学期と秋学期に Production を 2 単位と Reception を 1 単位修得した場合、SIE や WIE で英語 A を 1 単位修得すれば、それを Reception としてカウントし、英語 A の必修 4 単位 (Production を 2 単位、Reception を 2 単位) を充足することができます。

## 5. CEFR-J

CEFR-J とは、欧州言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages, CEFR）をもとに日本人の英語学習者を念頭に置いて作成された、英語能力のレベルを記述するための指標です。

次ページからの表はそれぞれのレベル(PreA1～C2)の学習者が、英語を使ってどのようなことができるのかを示していますので、英語の授業を選んだり、自身の英語力の伸びを振り返ったりするために参照してください。GLIP 英語科目のシラバスでも、CEFR のレベルを明記しているものがあります。また、卒業証書に添えられる TUFSS Diploma Supplement にも、英語力が CEFR-J でレベル表記されます。

The CEFR-J descriptors of English language proficiency for Japanese learners

The CEFR-J Version 1.1（日本語版）. (c) 2012-2016, CEFR-J 開発チーム（代表：東京外国語大学 投野由紀夫）<http://www.cefr-j.org> よりダウンロード

■ 聞くこと / Listening

	技能	日本語版	英語版
PreA1	聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、日常の身近な単語を聞きとることができる。	I can catch everyday, familiar words, provided they are delivered clearly and slowly.
PreA1	聞くこと	英語の文字が発音されるのを聞いて、どの文字かわかる。	I can recognise the letters of the English alphabet, when they are pronounced.
A1.1	聞くこと	当人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」といった短い簡単な指示を理解することができる。	I can understand short, simple instructions such as "Stand up." "Sit down." "Stop." etc., provided they are delivered face-to-face, slowly and clearly.
A1.1	聞くこと	日常生活に必要な重要な情報(数字、品物の値段、日付、曜日など)を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞きとることができる。	I can catch key information necessary for everyday life such as numbers, prices, dates, days of the week, provided they are delivered slowly and clearly.
A1.2	聞くこと	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	I can understand short conversations about familiar topics (e.g. hobbies, sports, club activities), provided they are delivered in slow and clear speech.
A1.2	聞くこと	日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。	I can catch concrete information (e.g. places and times) on familiar topics encountered in everyday life, provided it is delivered in slow and clear speech.
A1.3	聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	I can understand phrases and expressions related to matters of immediate relevance to me or my family, school, neighborhood etc, provided they are delivered slowly and clearly.
A1.3	聞くこと	(買い物や外食などで)簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	I can understand instructions and explanations necessary for simple transactions (e.g. shopping and eating out), provided they are delivered slowly and clearly.
A2.1	聞くこと	ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	I can understand short, simple announcements e.g. on public transport or in stations or airports, provided they are delivered slowly and clearly.
A2.1	聞くこと	学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。	I can understand the main points of straightforward factual messages (e.g. a school assignment, a travel itinerary), provided speech is clearly articulated in a familiar accent.
A2.2	聞くこと	スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	I can understand and follow a series of instructions for sports, cooking, etc. provided they are delivered slowly and clearly.
A2.2	聞くこと	視覚補助のある作業(料理、工作など)の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。	I can understand instructions about procedures (e.g. cooking, handicrafts), with visual aids, provided they are delivered in slow and clear speech involving rephrasing and repetition.
B1.1	聞くこと	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	I can understand the gist of explanations of cultural practices and customs that are unfamiliar to me, provided they are delivered in slow and clear speech involving rephrasing and repetition.
B1.1	聞くこと	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	I can understand the main points of extended discussions around me, provided speech is clearly articulated and in a familiar accent.
B1.2	聞くこと	自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に興味のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。	I can understand the majority of the concrete information content of recorded or broadcast audio material on topics of personal interest spoken at normal speed.
B1.2	聞くこと	はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。	I can understand the main points of short radio news items about familiar topics if they are delivered in a clear, familiar accent.
B2.1	聞くこと	自然な速さの標準的な英語で話されていれば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解できる。	I can understand the main points of a conversation between native speakers in television programmes and in films, provided they are delivered at normal speed and in standard English.
B2.1	聞くこと	トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。	I can follow extended speech and complex lines of argument provided the topic is reasonably familiar.
B2.2	聞くこと	非母語話者への配慮としての言語的な調整がなされていなくても、母語話者同士の多様な会話の流れ(テレビ、映画など)についていくことができる。	I can follow a variety of conversations between native speakers, in television programmes and in films, which make no linguistic adjustments for non-native speakers.
B2.2	聞くこと	自然な速さで標準的な発音の英語で話されていれば、現代社会や専門分野のトピックについて、話者の意図を理解することができる。	I can understand the speaker's point of view about topics of current common interest and in specialised fields, provided it is delivered at a natural speed and articulated in standard English.
C1	聞くこと	構成が明瞭ではなく、事柄の関係性が暗示されているだけで明示的になっていないときでも、長い話を理解できる。また、特別に努力しなくてもテレビ番組や映画を理解することができる。	I can understand extended speech even when it is not clearly structured and when relationships are only implied and not signalled explicitly. I can understand television programmes and films without too much effort.
C2	聞くこと	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードの発話でも、話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も難無く理解することができる。	I have no difficulty in understanding any kind of spoken language, whether live or broadcast, even when delivered at fast native speed, provided I have some time to get familiar with the accent.

■ 読むこと／Reading

	技能	日本語版	英語版
PreA1	読むこと	口頭活動で既に慣れ親しんだ絵本の中の単語を見つけることができる。	I can recognise words in a picture book that are already familiar through oral activities.
PreA1	読むこと	ブロック体で書かれた大文字・小文字がわかる。	I can recognise upper- and lower-case letters printed in block type.
A1.1	読むこと	「駐車禁止」、「飲食禁止」等の日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。	I can read and understand very short, simple, directions used in everyday life such as "No parking", "No food or drink" etc.
A1.1	読むこと	ファーストフード・レストランの、絵や写真がついたメニューを理解し、選ぶことができる。	I can understand a fast-food restaurant menu that has pictures or photos, and choose the food and drink in the menu.
A1.2	読むこと	簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。	I can understand very short, simple, everyday texts, such as simple posters and invitation cards.
A1.2	読むこと	身近な人からの携帯メールなどによる、旅の思い出などが書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。	I can understand very short reports of recent events such as text messages from friends' or relatives', describing travel memories, etc.
A1.3	読むこと	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。	I can understand texts of personal interest (e.g. articles about sports, music, travel, etc.) written with simple words supported by illustrations and pictures.
A1.3	読むこと	簡単な語を用いて書かれた、挿絵のある短い物語を理解することができる。	I can understand short narratives with illustrations and pictures written in simple words.
A2.1	読むこと	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。	I can understand explanatory texts describing people, places, everyday life, and culture, etc., written in simple words.
A2.1	読むこと	簡単な語を用いて書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	I can understand short narratives and biographies written in simple words.
A2.2	読むこと	簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的に内容が予想できるものから必要な情報を探すことができる。	I can find the information I need, from practical, concrete, predictable texts (e.g. travel guidebooks, recipes), provided they are written in simple English.
A2.2	読むこと	生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。	I can understand the main points of texts dealing with everyday topics (e.g. life, hobbies, sports) and obtain the information I need.
B1.1	読むこと	学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。	I can understand the main points of English newspaper and magazine articles adapted for educational purposes.
B1.1	読むこと	ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。	I can understand clearly written instructions (e.g. for playing games, for filling in a form, for assembling things).
B1.2	読むこと	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる。	I can search the internet or reference books, and obtain school- or work-related information, paying attention to its structure. Given the occasional use of a dictionary, I can understand it, relating it to any accompanying figures or tables.
B1.2	読むこと	平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。	I can understand the plot of longer narratives written in plain English.
B2.1	読むこと	現代の問題など一般に関心の高いトピックを扱った文章を、辞書を使わずに読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	I can read texts dealing with topics of general interest, such as current affairs, without consulting a dictionary, and can compare differences and similarities between multiple points of view.
B2.1	読むこと	難しい部分を読み返すことができれば、自分の専門分野の報告書・仕様書・操作マニュアルなどを、詳細に理解することができる。	I can understand in detail specifications, instruction manuals, or reports written for my own field of work, provided I can reread difficult sections.
B2.2	読むこと	記事やレポートなどのやや複雑な文章を一読し、文章の重要度を判断することができる。綿密な読みが必要と判断した場合は、読む速さや読み方を変えて、正確に読むことができる。	I can scan through rather complex texts e.g. articles and reports, and can identify key passages. I can adapt my reading speed and style, and read accurately, when I decide closer study is worthwhile.
B2.2	読むこと	自分の専門分野の論文や資料から、辞書を使わずに、必要な情報や論点を読み取ることができる。	I can extract necessary information and the points of the argument from articles and reference materials in my specialised field without consulting a dictionary.
C1	読むこと	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。自分の関連外の分野での専門的記事や長い技術的説明書も理解できる。	I can understand long and complex factual and literary texts, appreciating distinctions of style. I can understand specialised articles and longer technical instructions, even when they do not relate to my field.
C2	読むこと	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な文章、例えばマニュアル・専門的記事・文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた英文を容易に読むことができる。	I can read with ease virtually all forms of the written language, including abstract, structurally or linguistically complex texts such as manuals, specialised articles and literary works.

■ やりとり / Spoken Interaction

	技能	日本語版	英語版
PreA1	やりとり	基礎的な語句を使って、「助けて!」や「～が欲しい」などの自分の要求を伝えることができる。また、必要があれば、欲しいものを指さしながら自分の意思を伝えることができる。	I can express my wishes and make requests in areas of immediate need such as "Help!" and "I want ~", using basic phrases. I can express what I want by pointing at it, if necessary.
PreA1	やりとり	一般的な定型の日常の挨拶や季節の挨拶をしたり、そうした挨拶に応答したりすることができる。	I can use common, formulaic, daily and seasonal greetings, and respond to those greetings.
A1.1	やりとり	なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。	I can ask and answer questions about times, dates, and places, using familiar, formulaic expressions.
A1.1	やりとり	家族、日課、趣味などの個人的なトピックについて、(必ずしも正確ではないが)なじみのある表現や基礎的な文を使って、質問したり、質問に答えたりすることができる。	I can ask and answer about personal topics (e.g. family, daily routines, hobby), using mostly familiar expressions and some basic sentences (although these are not necessarily accurate).
A1.2	やりとり	基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができるかできないかや色についてのやりとりなど)、において単純に応答することができる。	I can respond simply in basic, everyday interactions such as talking about what I can/cannot do or describing colour, using a limited repertoire of expressions.
A1.2	やりとり	スポーツや食べ物などの好き嫌いなどのとてもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレパートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。	I can exchange simple opinions about very familiar topics such as likes and dislikes for sports, foods, etc., using a limited repertoire of expressions, provided that people speak clearly.
A1.3	やりとり	趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	I can ask and answer simple questions about familiar topics such as hobbies, club activities, provided people speak clearly.
A1.3	やりとり	基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けたり、断ったりすることができる。	I can make, accept and decline offers, using simple words and a limited range of expressions.
A2.1	やりとり	順序を表す表現である first, then, next などのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、簡単な道案内をすることができる。	I can give simple directions from place to place, using basic expressions such as "turn right" and "go straight" along with sequencers such as first, then, and next.
A2.1	やりとり	補助となる絵やものを用いて、基本的な情報を伝え、また、簡単な意見交換をすることができる。	I can get across basic information and exchange simple opinions, using pictures or objects to help me.
A2.2	やりとり	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。	I can exchange opinions and feelings, express agreement and disagreement, and compare things and people using simple English.
A2.2	やりとり	予測できる日常的な状況(郵便局・駅・店など)ならば、さまざまな語や表現を用いてやり取りができる。	I can interact in predictable everyday situations (e.g., a post office, a station, a shop), using a wide range of words and expressions.
B1.1	やりとり	身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。	I can express opinions and exchange information about familiar topics (e.g. school, hobbies, hopes for the future), using a wide range of simple English.
B1.1	やりとり	個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。	I can maintain a social conversation about concrete topics of personal interest, using a wide range of simple English.
B1.2	やりとり	病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。	I can explain in detail and with confidence a problem which has arisen in places such as hospitals or city halls. I can get the right treatment by providing relevant, detailed information.
B1.2	やりとり	駅や店などの一般的な場所で、間違った切符の購入などといったサービスに関する誤りなどの問題を、自信を持って詳しく説明することができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言って、正しいものやサービスを受けることができる。	I can explain with confidence a problem which has arisen in familiar places such as a station or a shop (e.g. purchasing the wrong ticket) and obtain the right product or service by requesting politely and expressing gratitude (assuming that the provider of the service is cooperative).
B2.1	やりとり	ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。	I can discuss the main points of news stories I have read about in the new spapers/ on the internet or watched on TV, provided the topic is reasonably familiar to me.
B2.1	やりとり	母語話者同士の議論に加われないこともあるが、自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる。	I can discuss abstract topics, provided they are within my terms of knowledge, my interests, and my experience, although I sometimes cannot contribute to discussions between native speakers.
B2.2	やりとり	一般的な分野から、文化、学術などの、専門的な分野まで、幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを正確かつ流暢に表現することができる。	I can actively engage in conversations on a wide range of topics from the general to more specialised cultural and academic fields and express my ideas accurately and fluently.
B2.2	やりとり	幅広い慣用表現を使って、雑誌記事に対して意見を交換することができる。	I can exchange opinions about magazine articles using a wide range of colloquial expressions.
C1	やりとり	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。	I can express myself fluently and spontaneously without much obvious searching for expressions. I can use language flexibly and effectively for social and professional purposes. I can formulate ideas and opinions with precision and relate my contribution skillfully to those of other speakers.
C2	やりとり	いかなる会話や議論でも無理なくこなすことができ、慣用表現、口語表現をよく知っている。自分を流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人に気づかれないように修正し、うまく繕うことができる。	I can take part effortlessly in any conversation or discussion and have a good familiarity with idiomatic expressions and colloquialisms. I can express myself fluently and convey finer shades of meaning precisely. If I do have a problem I can backtrack and restructure around the difficulty so smoothly that other people are hardly aware of it.

■ 発表 / Spoken Production

	技能	日本語版	英語版
PreA1	発表	簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についてのごく限られた情報(名前、年齢など)を伝えることができる。	I can convey very limited information about myself (e.g. name and age), using simple words and basic phrases.
PreA1	発表	前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。	I can give a simple explanation about an object while showing it to others using basic words, phrases and formulaic expressions, provided I can prepare my speech in advance.
A1.1	発表	基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報(家族や趣味など)を伝えることができる。	I can convey personal information (e.g. about my family and hobbies), using basic phrases and formulaic expressions.
A1.1	発表	基礎的な語句、定型表現を用いて、簡単な情報(時間や日時、場所など)を伝えることができる。	I can convey simple information (e.g. times, dates, places), using basic phrases and formulaic expressions.
A1.2	発表	前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。	I can express simple opinions related to limited, familiar topics, using simple words and basic phrases in a restricted range of sentence structures, provided I can prepare my speech in advance.
A1.2	発表	前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。	I can give simple descriptions e.g. of everyday object, using simple words and basic phrases in a restricted range of sentence structures, provided I can prepare my speech in advance.
A1.3	発表	前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文に用い、複数の文で意見を言うことができる。	I can express simple opinions about a limited range of familiar topics in a series of sentences, using simple words and basic phrases in a restricted range of sentence structures, provided I can prepare my speech in advance.
A1.3	発表	前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写できる。	I can describe simple facts related to everyday life with a series of sentences, using simple words and basic phrases in a restricted range of sentence structures, provided I can prepare my speech in advance.
A2.1	発表	一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	I can introduce myself including my hobbies and abilities, using a series of simple phrases and sentences.
A2.1	発表	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をすることができる。	I can give a brief talk about familiar topics (e.g. my school and my neighborhood) supported by visual aids such as photos, pictures, and maps, using a series of simple phrases and sentences.
A2.2	発表	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。	I can make a short speech on topics directly related to my everyday life (e.g. myself, my school, my neighborhood) with the use of visual aids such as photos, pictures, and maps, using a series of simple words and phrases and sentences.
A2.2	発表	一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。	I can give an opinion, or explain a plan of action concisely giving some reasons, using a series of simple words and phrases and sentences.
B1.1	発表	使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だてて、話しを広げながら、ある程度詳しく語るすることができる。	I can talk in some detail about my experiences, hopes and dreams, expanding on what I say by joining together words, phrases and expressions I can readily use to make longer contributions.
B1.1	発表	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語るすることができる。	I can talk about familiar topics and other topics of personal interest, without causing confusion to the listeners, provided I can prepare my ideas in advance and use brief notes to help me.
B1.2	発表	短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。	I can give an outline or list the main points of a short story or a short newspaper article with some fluency, adding my own feelings and ideas.
B1.2	発表	自分の関心事であれば、社会の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問があれば相手に理解できるように答えることができる。	I can give a reasonably smooth presentation about social situations of personal interest, adding my own opinions, and I can take a series of follow up questions from the audience, responding in a way that they can understand.
B2.1	発表	ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で流暢に行うことができ、一連の質問にもある程度流暢に対応ができる。	I can give a prepared presentation with reasonable fluency, stating reasons for agreement or disagreement or alternative proposals, and can answer a series of questions.
B2.1	発表	ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。	I can develop an argument clearly in a debate by providing evidence, provided the topic is of personal interest.
B2.2	発表	要点とそれに関連する詳細の両方に焦点を当てながら、流暢にプレゼンテーションができ、また、あらかじめ用意されたテキストから自然にはなれて、聴衆が興味のある点に対応してプレゼンテーションの内容を調整し、そこでもかなり流暢に容易に表現できる。	I can give a fluent presentation, focusing on both the main points and related details. I can depart spontaneously from a prepared text and follow up interesting points raised by members of the audience, often showing remarkable fluency and ease of expression.
B2.2	発表	ディベートなどで、社会問題や時事問題に関して、補助的観点や関連事例を詳細に加えながら、自分の視点を明確に展開することができ、話を続けることができる。	I can clarify my view points, and maintain conversation in debates on social issues and current affairs, integrating sub-themes or related cases.
C1	発表	複雑なトピックを、派生的問題にも立ち入って、詳しく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	I can present clear, detailed descriptions of complex subjects integrating sub-themes, developing particular points and rounding off with an appropriate conclusion.
C2	発表	状況にあった文体で、はっきりと流暢に記述・論述ができる。効果的な論理構成によって聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。	I can present a clear, smoothly flowing description or argument in a style appropriate to the context and with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points.

## ■ 書くこと／Writing

	技能	日本語版	英語版
PreA1	書くこと	アルファベットの大きく・小さく、単語のつづりをブロック体で書くことができる。	I can write upper- and lower-case letters and words in block letters.
PreA1	書くこと	単語のつづりを1文字ずつ発音されれば、聞いてそのとおり書くことができる。また書いてあるものを写すことができる。	I can write down words provided they are pronounced letter by letter. I can copy what is written.
A1.1	書くこと	住所・氏名・職業などの項目がある表を埋めることができる。	I can fill in forms with such items as name, address, and occupation.
A1.1	書くこと	自分について基本的な情報(名前、住所、家族など)を辞書を使えば短い句または文で書くことができる。	I can write short phrases and sentences giving basic information about myself (e.g. name, address, family) with the use of a dictionary.
A1.2	書くこと	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好き嫌い、家族、学校生活など)について短い文章を書くことができる。	I can write short texts about matters of personal relevance (e.g. likes and dislikes, family, and school life), using simple words and basic expressions.
A1.2	書くこと	簡単な語や基礎的な表現を用いて、メッセージカード(誕生日カードなど)や身近な事柄についての短いメモなどを書ける。	I can write message cards (e.g. birthday cards) and short memos about events of personal relevance, using simple words and basic expressions.
A1.3	書くこと	自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。	I can write short texts about my experiences with the use of a dictionary.
A1.3	書くこと	趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。	I can write a series of sentences about my hobbies and likes and dislikes, using simple words and basic expressions.
A2.1	書くこと	日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	I can write invitations, personal letters, memos, and messages, in simple English, provided they are about routine, personal matters.
A2.1	書くこと	文と文を and, but, because などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。	I can write texts of some length (e.g. diary entries, explanations of photos and events) in simple English, using basic, concrete vocabulary and simple phrases and sentences, linking sentences with simple connectives like <i>and</i> , <i>but</i> , and <i>because</i> .
A2.2	書くこと	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。	I can write a simple description about events of my immediate environment, hobby, places, and work, provided they are in the field of my personal experience and of my immediate need.
A2.2	書くこと	聞いた話や読んだ内容(生活や文化の紹介などの説明や物語)であれば、基礎的な日常生活語彙や表現を用いて、感想や意見などを短く書くことができる。	I can write my impressions and opinions briefly about what I have listened to and read (e.g. explanations about lifestyles and culture, stories), using basic everyday vocabulary and expressions.
B1.1	書くこと	自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。	I can write a description of substantial length about events taking place in my immediate environment (e.g. school, workplace, local area), using familiar vocabulary and grammar.
B1.1	書くこと	身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。	I can write coherent instructions telling people how to do things, with vocabulary and grammar of immediate relevance.
B1.2	書くこと	新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじをまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。	I can report the outline or basic content of newspaper articles and movies, expressing my own opinions, using non-technical vocabulary and less complicated sentence structures.
B1.2	書くこと	物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかの段落で書くことができる。また、近況を詳しく伝える個人的な手紙を書くことができる。	I can write narratives (e.g. travel diaries, personal histories, personal anecdotes) in several paragraphs, following the order of events. I can write personal letters which report recent events in some detail.
B2.1	書くこと	自分の専門分野であれば、メールやファックス、ビジネス・レターなどのビジネス文書を、感情の度合いをある程度含め、かつ用途に合った適切な文体で、書くことができる。	I can write business documents (e.g. e-mail, fax, business letters), conveying degrees of emotion, in a style appropriate to the purpose, provided they are in my professional field.
B2.1	書くこと	そのトピックについて何か自分が知っていれば、多くの情報源から統合して情報や議論を整理しながら、それに対する自分の考えの根拠を示しつつ、ある程度の結束性のあるエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文法構造をある程度使って、書くことができる。	I can write reasonably coherent essays and reports using a wide range of vocabulary and complex sentence structures, synthesising information and arguments from a number of sources, provided I know something about the topics.
B2.2	書くこと	自分の専門分野や関心のある事柄であれば、複雑な内容を含む報告書や論文などを、原因や結果、仮定的な状況も考慮しつつ、明瞭かつ詳細な文章で書くことができる。	I can write clear, detailed reports and articles which contain complicated contents, considering cause/effect and hypothetical situations, provided they are in my specialised field and of personal concern.
B2.2	書くこと	感情や体験の微妙なニュアンスを表現するのであれば、重要な点や補足事項の詳細を適切に強調しながら、筋道だった議論を展開しつつ、明瞭で結束性の高いエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文法構造を用いて、書くことができる。	I can write clear, coherent essays and reports with a wide repertoire of vocabulary and complex sentence structures, emphasizing important points, integrating sub-themes, and constructing a chain of argument, as long as I do not need to express subtle nuances of feelings and experience.
C1	書くこと	いくつかの視点を示して、明瞭な構成で、かなり詳細に自己表現ができる。自分が重要だと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題について書くことができる。読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。	I can express myself in clear, well-structured text, expressing points of view at some length. I can write about complex subjects in a letter, an essay or a report, underlining what I consider to be the salient issues. I can select style appropriate to the reader in mind.
C2	書くこと	明瞭で流暢な文章を適切な文体で書くことができる。効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気づかせ、記憶にとめさせるよう、複雑な手紙、レポート、記事を書くことができる。仕事や文学作品の概要や評論を書くことができる。	I can write clear, smoothly flowing text in an appropriate style. I can write complex letters, reports or articles which present a case with an effective logical structure which helps the recipient to notice and remember significant points. I can write summaries and reviews of professional or literary works.

GLIP 科目履修に関する問い合わせ先  
E-mail: [glip@tufs.ac.jp](mailto:glip@tufs.ac.jp)  
Tel: 042-330-5366

GLIP デスク (研究講義棟 412 教室)